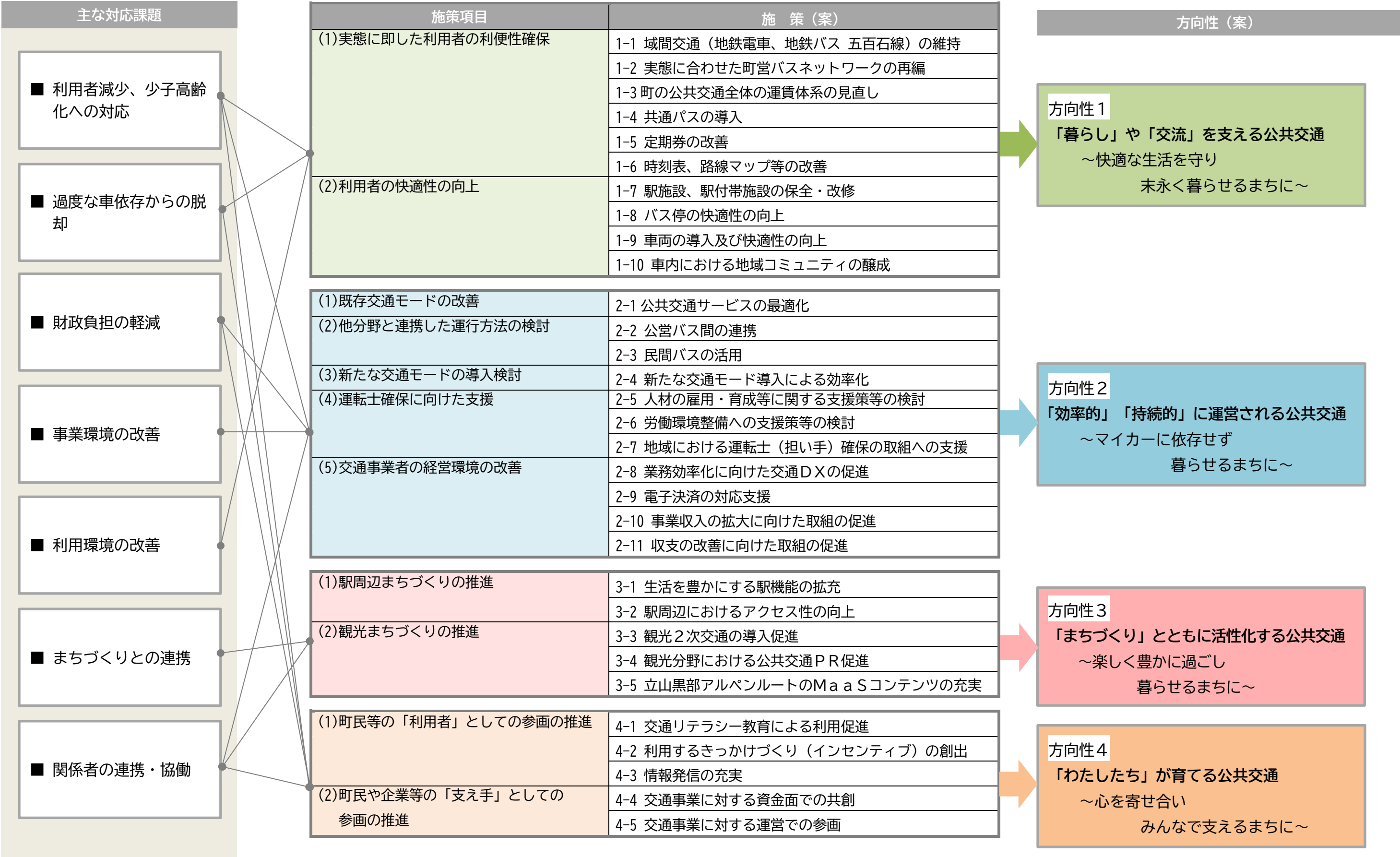


立山町の公共交通の課題、施策、事業の方向性等について

昨年度の現況把握及び各種調査結果を踏まえ主な対応課題を抽出した上で、住民等WSや法定協議会での意見を踏まえ、「施策（案）」と事業の「方向性（案）」の検討を行いました。
なお、次頁以降に方向性の施策ごとに「事業（例）」と「参考資料 協議会の意見と対応（意見 No.）」を示します。



方向性1 「暮らし」や「交流」を支える公共交通 ～快適な生活を守り末永く暮らせるまちに～

■ 利用者減少、少子高齢化への対応

■ 過度な車依存からの脱却

■ 利用環境の改善

主な対応課題	施策項目	施策（案）	事業（例） ※ 補：国等において関連する補助メニューがある事業	事業（例）から連想される キーワード	協議会の 意見と対応 （意見 No.）
	(1)実態に即した利用者の利便性確保	1-1 域間交通（地鉄電車、地鉄バス 五百石線）の維持	・国や県の補助を活用した交通事業者への財政支援（継続、新規）補	交通事業者への財政支援の検討／地域間幹線系統確保維持費補助金／市町村運行バス路線対策費補助金	No. 1, 4
		1-2 実態に合わせた町営バスネットワークの再編	・需要や生活圏などライフスタイルに合わせたルート・ダイヤの見直し ・子供や高齢者等の交通弱者が自由に動けるルート・ダイヤの設定 ・域間交通との乗り継ぎの円滑化 補	ルート、ダイヤ、乗り継ぎの見直し	No. 30, 31, 32, 37, 38
		1-3 町の公共交通全体の運賃体系の見直し	・分かりやすい運賃体系への見直し ・運賃の適正化に向けた検討	距離制運賃や均一運賃の見直し／分かりやすい運賃への見直し	
		1-4 共通パスの導入	・相互利用可能な共通おでかけパスの導入	交通事業者同士の割引連携／おでかけ定期の連携	
		1-5 定期券の改善	・学生や高齢者等のターゲットに向けた定期券補助の拡充 ・たてぽや交通系 I C カードと定期券の連携 ・団体（企業、高等学校）申請受付制度の導入検討	交通事業者の連携・共通化／雄山高校生の定期券補助／割引負担者や対象年齢の見直し	No. 37, 38
		1-6 時刻表、路線マップ等の改善	・町内公共交通の統一時刻表の作成 補 ・主要駅におけるとやまロケーションシステム機能の拡充 補	分かりやすい、便利な時刻表への改善／Free Wi-Fi 活用による情報提供の拡充／デジタルサイネージの設置	
	(2)利用者の快適性の向上	1-7 駅施設、駅付帯施設の保全・改修	・駅舎及び駐輪場等の付帯施設の保全 補 ・実態に即した送迎スペースの整備 補	ベンチ、トイレ、柵、駅舎、駐輪場の修繕／送迎スペースの整備	No. 34, 35
		1-8 バス停の快適性の向上	・空き家や店舗等を活用したバス停上屋・ベンチの設置 補 ・主要バス停における情報タブレットやQ R コードの設置 補	上屋・ベンチ等のバス停環境の整備／Free Wi-Fi 活用による情報提供の拡充	
		1-9 車両の導入及び快適性の向上	・環境に配慮したバス車両の導入 補 ・安全・安心な運行に向けた車両及び線路の老朽化への対応 補 ・車両・路線のナンバリング及びカラーリングによるバリアフリー化 ・デザインとサービス一体化による交通ブランディングの検討 補	電気・ハイブリッド車両等導入によるG X への対応／デザインによるバリアフリー化／車両の老朽化・乗り心地改善への対応（線路・枕木）／公共交通ブランディング（イメージ戦略）の検討	
		1-10 車内における地域コミュニティの醸成	・地域コミュニティ醸成のためのアナウンス等の車内サービスの検討 補 ・車内交流活性化のための学生介助員やアテンダントの設置検討	清掃やアナウンス、音楽等による車内環境の改善／学生ボランティアやアテンダントの活用／地域コミュニティの醸成	No. 31

方向性2 「効率的」「持続的」に運営される公共交通 ～マイカーに依存せず暮らせるまちに～

主な対応課題	施策項目	施策（案）	事業（例） ※ 補：国等において関連する補助メニューがある事業	事業（例）から連想される キーワード	協議会の 意見と対応 （意見 No.）
■ 利用者減少、少子高齢化への対応 ■ 財政負担の軽減 ■ 事業環境の改善 ■ 関係者の連携・協働	(1)既存交通モードの改善	2-1 公共交通サービスの最適化	・ダイヤ・車両・人材の合理化の検討 補 ・タクシー活用による車両の小型化の検討 補 ・交通事業者間の連携による運行の共同化の検討 補	乗車密度に応じた便数設定やパターンダイヤの検討／バス車両のダウンサイジングの検討／事業者間での人材・車両の連携	No. 29
	(2)他分野と連携した運行方法の検討	2-2 公営バス間の連携	・スクール、福祉、町営バスの一括委託による効率化の検討 補 ・スクールバス、福祉バスへの混乗可能性の検討 補	スクールバス、福祉バス、病院送迎バス等の他分野との共創／空き時間活用や混乗可能性の検討	No. 48, 49, 50, 51
		2-3 民間バスの活用	・病院等の施設送迎バスとの混乗可能性の検討 補		
	(3)新たな交通モードの導入検討	2-4 新たな交通モード導入による効率化	・A I オンデマンド交通の導入検討 補 ・タクシーの乗合化、補助の導入検討 補 ・住民等による自家用有償旅客運送の導入検討 補	デマンド化やタクシー補助による効率化の検討／ライドシェア、シェアタクシー、小型モビリティ、自家用有償旅客運送等の交通モードの検討	No. 24, 51
	(4)運転士確保に向けた支援	2-5 人材の雇用・育成等に関する支援策等の検討	・就職説明会の開催等の人材の共同募集 補 ・交通事業者職場体験会の開催	人材の共同募集／交通事業者見学会	No. 2, 3, 4, 5, 6, 7, 20, 21, 22, 23, 26, 27
		2-6 労働環境整備への支援策等の検討	・国や県と連携した資格取得や研修参加への支援、P R 補 ・トイレや仮眠室・休憩室等の施設整備 補	研修や資格取得支援／厚生労働省支援の情報提供	
		2-7 地域における運転士（担い手）確保の取組への支援	・町内における有償送迎者の募集・育成方法の検討	町内での有償送迎者募集／運転手不足への対応	
	(5)交通事業者の経営環境の改善	2-8 業務効率化に向けた交通D Xの促進	・運行管理システム・配車アプリの導入支援 補	バス乗降センサー設置等によるデータ収集の効率化／配車業務の効率化／交通D Xによる業務改善支援	
		2-9 電子決済の対応支援	・全国共通の交通系I Cカードとの連携支援 補	全国共通交通系I Cカード	
		2-10 事業収入の拡大に向けた取組の促進	・車内やイベント等での物販事業の強化への支援 ・鉄道ファン体験ツアー等の受入れ環境整備への支援	グッズの拡充／車内での特産品の販売等の検討／鉄道の体験ツアー、展示	
		2-11 収支の改善に向けた取組の促進	・各交通モードにおける国庫補助の活用検討 補 ・立山線等の存続のあり方検討会での検討継続	補助の活用検討／鉄道事業の上下分離や経営統合の検討	No. 28

方向性3 「まちづくり」とともに活性化する公共交通 ～楽しく豊かに過ごし暮らせるまちに～

主な対応課題		施策項目	施策（案）	事業（例） ※ 補：国等において関連する補助メニューがある事業	事業（例）から連想される キーワード	協議会の 意見と対応 （意見 No.）
■ まちづくりとの連携 ■ 関係者の連携・協働	(1) 駅周辺まちづくりの推進	3-1 生活を豊かにする駅機能の拡充	・複合化や快適性向上による駅舎の魅力づくり 補 ・自治会や店舗・施設と連携した駅周辺機能の拡充 補 ・公共施設の再配置やイベントと連携した駅周辺活性化 補	飲食・物販・休憩・交流・公共機能の付加／待ち時間を活用できる機能の充実／荷物置き場の設置等の快適な環境づくり／町内の関係団体や公共施設再配置計画との連携	No. 31, 33, 35, 36, 39, 44	
		3-2 駅周辺におけるアクセス性の向上	・周辺店舗との連携や増設によるパーク＆ライド駐車場の拡充 補 ・駅周辺のバリアフリー化 補 ・主要駅における 2 次交通の導入検討 補	駅周辺へのアクセスの強化（クルマ、徒歩、電動スクーター等）／スロープや点字ブロック設置によるバリアフリー化整備	No. 34, 35, 36	
	(2) 観光まちづくりの推進	3-3 観光 2 次交通の導入促進	・自転車事業の拡充促進 ・観光地やイベント等への周遊バスの導入促進	E-BIKE の拡充促進／観光地周遊バスの導入促進／イベント交通の確保	No. 47	
		3-4 観光分野における公共交通 P R 促進	・サイクルトレイン等の利用促進 P R の拡充 ・観光協会と協働したサイクルツーリズムの P R 促進 ・車内外装ラッピングによる観光 P R 促進 補	サイクルトレインの P R 施策の拡充／協力店舗やサイクルステーション P R 促進	No. 47	
		3-5 立山黒部アルペンルートの M a a S コンテンツの充実	・鉄道とアルペンルート、宿泊飲食施設等の M a a S 連携の検討 ・国内周遊観光に配慮した複数交通の一括決済の検討	複数交通と施設利用の一括決済の検討／スマホ一括予約・決済・チケットレス化／アルペンルートの宿泊・飲食・交通との M a a S 連携	No. 47	

方向性4 「わたしたち」が育てる公共交通 ～心を寄せ合いみんなで支えるまちに～

主な対応課題	施策項目	施策（案）	事業（例） ※ 補：国等において関連する補助メニューがある事業	事業（例）から連想される キーワード	協議会の 意見と対応 （意見 No.）
■ 利用者減少、少子高齢化への対応 ■ 過度な車依存からの脱却 ■ 財政負担の軽減 ■ 関係者の連携・協働	(1)町民等に対する「利用者」としての参画の推進	4-1 交通リテラシー教育による利用促進	・学校と連携した利用促進策の検討（子供MM※） 補 ・職場と連携した利用促進策の検討（職場MM） 補 ・ライフイベントと連動した利用促進策の検討 補（転入MM、免許返納MM） ・介護予防と連携した利用促進策の検討 補	環境教育との連携／役場や駅周辺企業との連携／転入や免許返納を契機とした情報提供や乗車体験会の開催	No. 5, 42, 43, 45
		4-2 利用するきっかけづくり（インセンティブ）の創出	・イベント、企画切符、ポイントの拡大等の各種割引検討による利用促進 補 ・体験乗車会等の開催 ・既存おでかけ事業等と連携した利用促進 補 ・交通業務見学会、交通イベントの開催 補	たてぽの分野連携の検討／1日無料券、お帰り乗車券等の企画切符の導入検討／立山あーとれいん、親子おでかけ事業、「電車・バスで行こう！」キャンペーン等の利用促進	No. 5, 35, 42, 43, 45
		4-3 情報発信の充実	・各種PRツールを用いたおでかけを誘発する情報発信の強化	HP・広報誌・SNS・Ma a Sアプリ・中吊り広告等の充実	No. 5, 44, 45
	(2)町民や企業等の公共交通の「支え手」としての参画の推進	4-4 交通事業に対する資金面での共創	・企業・店舗等の協賛金の導入 補 ・ふるさと納税等による応援制度の検討 ・地域負担金による地域交通の維持 補	広告収入、ネーミングライツ等による店舗の協賛金の導入／町内負担金の検討／クラウドファンディング、ふるさと納税、株主制度等による応援制度の検討	
		4-5 交通事業に対する運営での参画	・交通事業に関する住民意見交換会の開催 補 ・法定協議会、地域公共交通会議の定期開催 ・お掃除ボランティア登録制度の導入 ・バス停デザインなど学生と連携した情報発信等の強化 補 ・多手山プロジェクトへの参加促進 ・店舗や施設、住民と連携した待合場所等の快適性の確保 補 ・運行エリアへのトリガー方式の導入 補 ・芦峯寺線の維持 補	意見交換会、お掃除ボランティア、多手山プロジェクトによるワガコ化／大学生との連携／空き家や店舗を利用したバス停上屋の設置検討／店舗カート置き場等の工夫による待合改善	No. 40, 41, 46

※MM（モビリティ・マネジメント）

1人1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通施策